

## LCV「諏訪圏情報 BOX」第3回

- **放送日** 令和3年8月3日（火）、10日（火）
- **テーマ** 「県土の強靱化、地域内経済循環の促進」について
- **出演者** 諏訪建設事務所建築課 技師 山岸 敬弘

### ○ 聞き手とのやりとり(概要)

(Q) 今回のテーマは、「県土の強靱化、地域内経済循環の促進、市街地の活性化と快適な生活空間の創造」と、なかなか仰々しいものですが、これはどういったものですか。

(A) はい、現在、県で進行中の「しあわせ信州創造プラン2.0」を受けて、諏訪建設事務所が進める各種テーマの中から、建築課が特にリスナーの皆様方にお勧めしたい補助金等の制度に関係が深いテーマを選ばせていただきました。

(Q) 「県土の強靱化」について伺います。

(A) ご存知の方もいらっしゃると思いますが、諏訪建設事務所では皆様方が安心して生活できますように、河川、道路等といった、お住まいの外の重要インフラに関して、「県土の強靱化」を進めています。その一方で建築課では、皆様方のお住まいそのものに関して「住宅・建築物耐震改修総合支援事業」という助成金制度を通じて、市町村と一緒に耐震補強のお手伝いをさせていただいております。

この制度により、昭和56年以前に建築された木造一戸建て住宅にお住みの方は、建替えや耐震補強工事に最大100万円の助成金利用が可能になりますので、いつ発生してもおかしくない地震災害に、ぜひこの制度を活用し備えていただければと存じます。より詳細につきましては、申込窓口の市町村耐震担当課へのご相談をお願いします。

(Q) 建設事務所は、お住まいの「そと・うち」の強靱化も進めているのですね。続いて「地域内経済循環の促進」についてお話を伺います。

(A) はい、そのテーマには、「信州エコ住宅普及促進事業」と「環境配慮型住宅普及促進事業」という制度を通して取り組んでいますが、これは信州の木自給圏構築と地域住宅関連産業振興のため、県産木材を多用した、快適で環境にやさしい環境配慮型住宅の普及を目的とした助成金制度です。

実はこの制度には、環境面で持続可能な脱炭素社会を住まいから構築しようとする側面もあります。

助成金の詳細に関してですが、信州健康エコ住宅助成金については、助成額の最大は100万円です。この対象条件ですが一戸建ての木造住宅である事や一次エネルギー消費量20%以上の削減など省エネ基準を超える断熱性能が求められているゼロエネ基準に適合している事、県産木材の使用など全部で6項目の基本基準があります。

加算基準としても、断熱性能がさらに高い住宅が対象となっており、具体例として断熱材がポリスチレンフォーム3種であれば屋根面で280mm以上、壁面で110mm以上、さらにトリプルガラス樹脂サッシ採用により冬季室温が12℃以下とならない住宅等があげられます。このように居住者にとって快適で環境にも優しく大変メリットのある住宅が対象となっています。

環境配慮型住宅助成金は、リフォームが対象となっています。助成額の最大は50万円です。こちらも断熱性能を向上させたものが対象となっています。

それぞれ予算枠には、まだまだ空きがありますので、建築課への早めのお問合せを心からお待ちしております。

(Q) 手元のパンフレットを見ますと、リフォームについてはバリアフリー、県外からの移住者向けなどの加算項目もあるようですが、新築やリフォームに興味がある方には、お勧めのメニューですね。

それでは最後に「市街地の活性化と快適な生活空間の創造」についてお願いします。

(A) 皆様の身の回りには、建物や庭の手入れが行き届かず、快適な生活空間を損なっている「空き家」が、ここ何年間の中に、思いのほか増えているのではないのでしょうか？

(Q) そうですね。家の周りだけでなく別荘地内や通学路沿いにあって、危ないせっかくの景観が台無し、と感じたこともありますね。

(A) はい。最後のテーマに関する建築課の取組みとしまして「空き家対策」があり、その一環としての「あんしん空き家流通促進事業」という補助制度を皆様方にご紹介したいと思います。

(Q) どのような制度でしょうか？

(A) はい、空き家を検査するインスペクション費用と中古住宅売買瑕疵保険料に補助を行うことで、中古住宅購入希望者や中古住宅を扱う宅建業者の、リスクや不安感を少しでも軽減し、中古住宅流通を促進することで空き家の発生を抑制することが目的の制度です。

インスペクション費用と瑕疵保険料に、それぞれ一軒当たり最大5万円、合

計 10 万円の補助が可能となっています。今年度の予算枠には空きがまだありますので、中古住宅、空き家の活用に興味のある方は、建築課までお問い合わせをお願いします。

(Q) 建設事務所のお堅いテーマと構えていましたが、なかなか役に立つかもしれない、面白い情報でしたね。ありがとうございました。